

さいたま市でも 30人学級を実現しよう！

さいたま市教組情宣

一二月議会へ向けた
請願署名をはじめました
ぜひご協力下さい。

今年4月1日、文部科学省は少人数学級を「全面解禁」しました。その結果、全国でも埼玉県内でも30人程度の学級を実現しています。埼玉県内でも、志木市、上尾市、騎西町でも実施されています。志木市の例では下記のようになっています。一人ひとりにきめ細かな指導ができるようになります。成果が上がるという報告されています。他市でも30人学級への検討が続いています。

子どもの実態を考えると少人数学級はぜひとも必要。子どもたちが多面的な考えを交流し、共感的な関係ができ、明るく、ストレスが少ない」と語っています。

少人数学級は全国の大きな流れです。子どもたちが減少している今だからこそ財政負担も少なくすみます。父母市民のみなさんや教職員の強い願いが、各地で重い扉を動かしはじめました。

私たちは、さいたま市でも、子どもたちにゆきとどいた教育を実現するために、「30人学級の実施を求める請願署名」を始めました。ぜひ、みなさんのご協力をお願いいたします。

山形県教育次長の発言

「今の子どもの実態を考えると、少人数学級は必要だ。子どもが主体的に学習できる環境を整えたい。少人数学級は、子どもが主体的に学習できる環境を整えたい。少人数学級は、子どもが主体的に学習できる環境を整えたい。」

小学校一年生なら

4.1億円で可能！

市財政のたった0.07%

今年からさいたま市は政令指定都市になりました。そのため財政は市独自で組むことができるようになりました。昨年の市議会の論議の中で「小学校一年生を30人学級にすると7億4000万円かかり、中学校ともなると、その費用は膨大である」という反対意見がありました。

しかし、さいたま市教委の算定によると「小学校1年のみの場合、82名増となり、新採用での試算によると4.1億円です。」ということは、4.1億円ですみます。これはさいたま市の財政規模5500億円の何と0.07%の額です。

子どもたちのためにやる気さえあれば、実現できるのです。また、82名の新採用者の雇用は厳しい若者たちの雇用拡大にもつながります。ぜひ、30人学級を実現させましょう。

少人数学級になって

90%の子供が

「友達が増えた。」

昨年度から実施した山形県の例山形県教育委員会主催のシンポジウムで校長先生の発言

「子どもは『みんなが見渡せるんでいい』と言っています。子ども同士のかかり合いが成立するのでしょうか」

文科省の担当者の発言

「切磋琢磨がなく、学習意欲が引き出せるのか。しかし、子どもたちは子どもたちの声

- 「勉強が楽しくなった」75%
- 「先生や友達の話をよく聞けるようになった。」71%
- 「丁寧に教えてもらえるようになった。」67%
- 「意見を言いやすくなった」と言う声もありました。

少人数学級の生徒たちは学習意欲が落ちるどころか、大いに意欲的になっているようです。学力も伸びるはずですね。

さいたま市
教職員組合
(埼教組)
TEL 641-6763
FAX 648-3567

E-mail
saisikyouso@
mx2.et.tiki.
ne.jp

2003.10.3(月)
No.12

『銃口』是非ご覧下さい

一〇月十三日(月)午後二時半
市民会館おのみや大ホール
一般 三千五百円

少人数学級は全国の大きな流れ